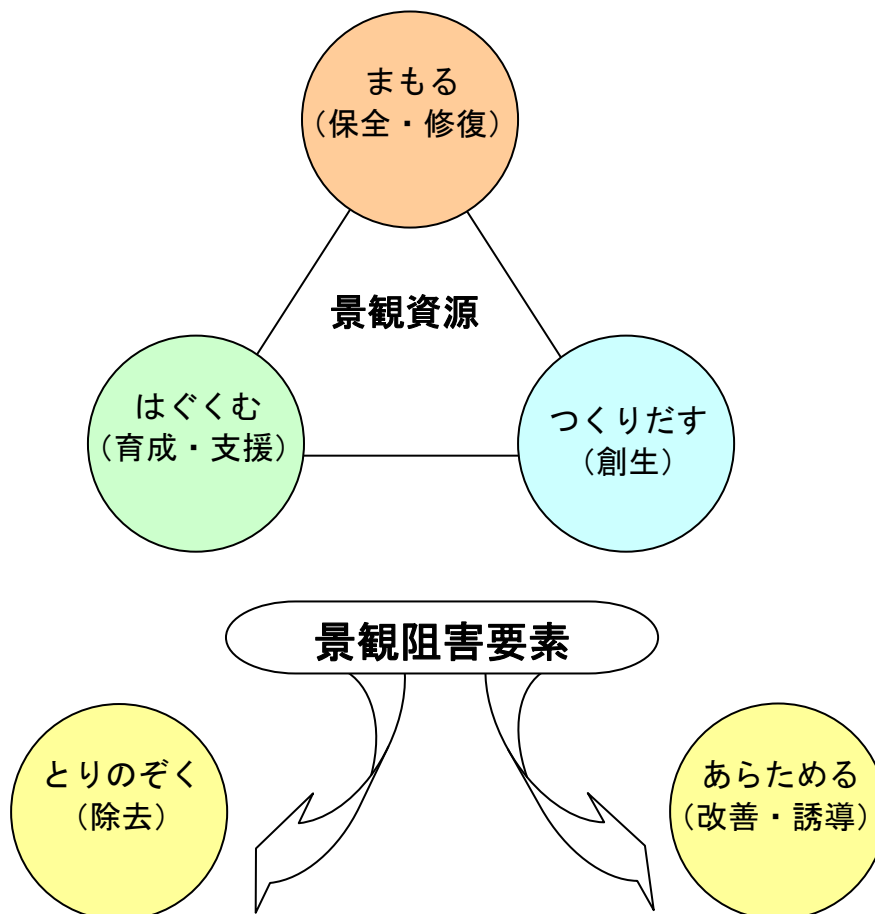


第3章 基本方針の概要

1. 景観形成の基本的姿勢

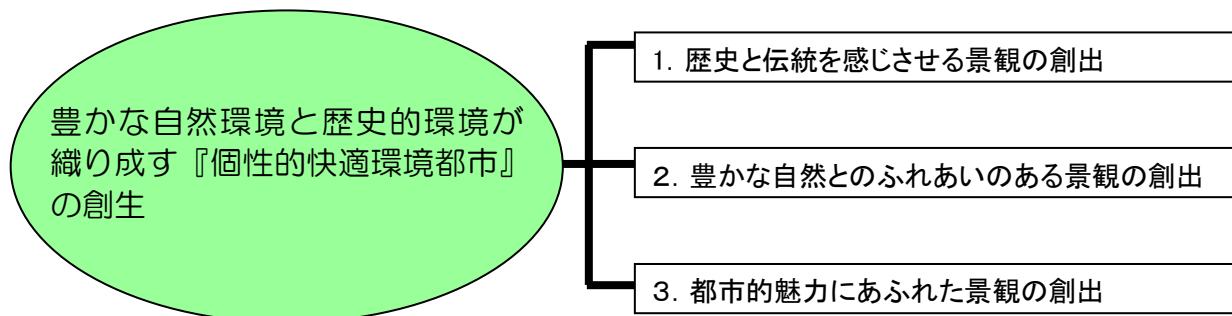
景観形成の取組みは、岸和田らしさと魅力あふれるまちづくりの一環として位置付けられます。市民、事業者、行政の景観形成に対する合意形成の下、三者がそれぞれの立場を理解しながら積極的に対話と協働することで、その取組みを進めます。

基本姿勢



基本目標と3つの指針

市の持つ景観特性をふまえて、基本目標を「豊かな自然環境と歴史的環境が織り成す『個性的快適環境都市』の創生」としています。そして、それを具体化していくために、「歴史・自然・都市」をキーワードにした3つの指針を設定しています。



2. 景観計画区域全域における基本方針

景観計画区域全域に共通する良好な景観の形成に関する基本方針を定めています。
基本方針やテーマに沿って設計し、シンボル（主な特徴施設等）との関連性も考慮して下さい。

テーマ

「恵まれた自然と文化環境を活かした質の高い『個性的快適環境都市』」



基本方針

1. 自然、歴史、文化を活かした岸和田らしいまちづくり
2. 海から山までの調和のとれた景観形成を図る

シンボル(主な特徴施設等)

神於山・岸和田城・岸和田大橋・春木川・だんじり・しころ屋根

留意点



- 景観特性を活かし「岸和田らしさ」に配慮する。
- ランドマークとしての神於山、岸和田城への眺望を考慮する。
- 中央を流れる春木川や水路網、ため池等水と緑のネットワークへ配慮する。
- 城周辺等、歴史的地域との調和。



神於山・眺望（加守町から撮影）



岸和田城と岸和田大橋・眺望（上空から撮影）



春木川（西之内町）



だんじり・しころ屋根（本町）

3. 基本景観区別の基本方針

岸和田市では、地形や土地利用、歴史などによって様々な景観特性を持つ地区が存在しています。ここでは、基本景観区に応じた景観形成のあり方を紹介し、設計にあたって留意していただくべき事項を整理しています。

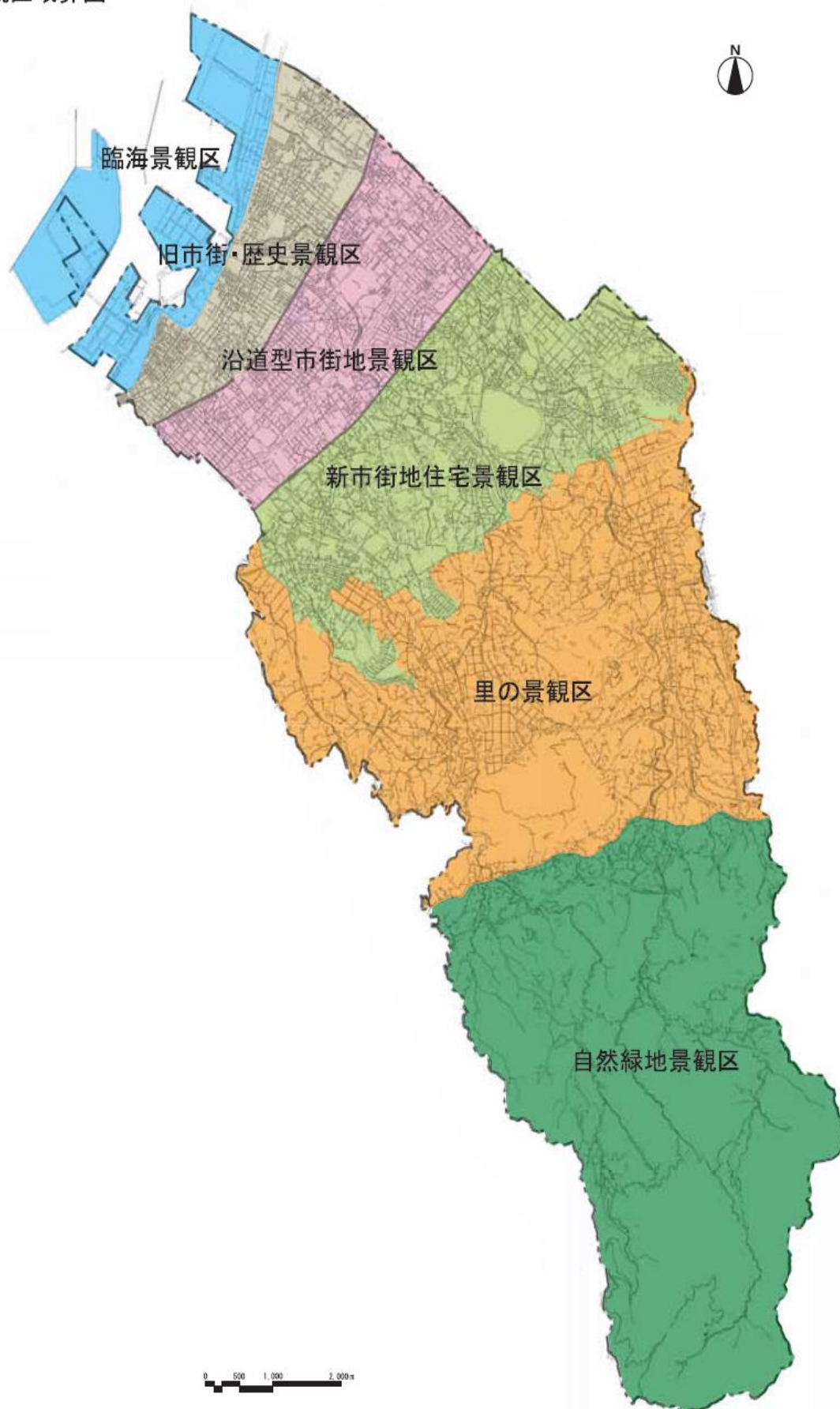
景観形成を図るため、『岸和田市景観計画』では、市域を6つの基本景観区に分け、各々の目指す景観形成の基本目標を設定しています。

基本景観区とは共通な景観特性を持ち、ある一定の広がりをもった区域です。その区域での景観特性やまとまりを強めていくことが、岸和田市全体の個性豊かな景観形成につながります。

基本景観区別の基本目標や基本方針に沿って設計し、また、シンボル（主な特徴施設等）との関連性を考慮してください。

基本景観区	主な特徴・施設等	基本目標	基本方針
景観計画 区域全体	神於山、岸和田城 岸和田大橋、春木川 だんじり・しころ屋根	豊かな自然環境と歴史的環境が 織り成す『個性的快適環境都市』 の創生	1. 自然、歴史、文化を活かした岸和田 らしいまちづくり。 2. 海から山までの調和のとれた景観形成 を図る。
① 臨海 景観区	漁港、岸和田大橋 岸和田水門	海辺に身近に接する親水空間の 創出	1. 海への眺望を大切に作る。 2. 水際の工業地を緑で演出する。
② 旧市街・歴史 景観区	岸和田城（石垣・堀） 歴史的なまちなみ （城下町・紀州街道） 近代建築物、だんじり宮入	歴史と新しさが織り成す魅力 空間の創出	1. 岸和田のシンボルとしての秩序ある まちなみを形成する。 2. 歴史的な地域の周辺は、歴史的空間の 保全、整備を進め、まちづくりに活かす。 3. 中心市街地らしい景観を演出する。
③ 沿道型市街地 景観区	国道 26 号 中央公園、春木川	調和のとれた住・工複合の まちづくり	1. 都市軸にふさわしい沿道・河川景観 をつくる。 2. 周辺の公園を活かした景観を演出する。
④ 新市街地住宅 景観区	熊野街道、古墳 久米田池・田畑 川・水路・ため池	生活文化拠点、良好な住環境の 創出	1. 良好な住宅地を形成する。 2. 歴史的遺産やため池との調和を図る。 3. 残された自然環境・風致を活かす。
⑤ 里の景観区	神於山、丘陵、石垣 ため池・農村集落 果樹園	残された自然と農村集落景観の 保全	1. 史跡や旧集落、街道などの歴史的 景観との調和を図る。 2. 地形・植生の保全、回復に努める。 3. 田園風景との調和を図り、山なみ景観 に配慮する。
⑥ 自然緑地 景観区	葛城山、溪谷、ブナ林 山村・山寺	自然環境の保全と、自然に 親しむ機会の増大	1. 現況の地形・植生の保存に努め、自 然風景との調和を図る。 2. 特に、標高 150m 以上の緑と山なみ は保全に努める。

● 景観区域界図



① 臨海景観区

基本目標

海辺に身近に接する親水空間の創出

基本方針

1. 海への眺望を大切にする。
2. 水際の工業地を緑で演出する。



シンボル(主な特徴施設等)

岸和田大橋・岸和田水門・漁港

留意点



- 海への眺望を確保する。
- 水際では親水空間を創出する。
- 岸和田大橋をランドマークとする。
- 海に映える美しいシルエットを形成する。
- 景観を阻害しないよう道路、水際からの修景を考える。



緑道（阪南二区）



漁港（地藏浜町）



防波堤（新港町）



阪南 2 区干潟（岸之浦町）

② 旧市街・歴史景観区

基本目標

歴史と新しさが織りなす魅力空間の創出



基本方針

1. 岸和田のシンボルとしての秩序あるまちなみを形成する。
2. 歴史的な地域の周辺は、歴史的空間の保全、整備を進め、まちづくりに活かす。
3. 中心市街地らしい景観を演出する。

シンボル（主な特徴施設等）

岸和田城（石垣・堀）・歴史的なまちなみ（城下町・紀州街道）・近代建築物・だんじり宮入

留意点



- 歴史的まちなみの雰囲気を守る。
- 岸和田城への眺望、岸和田城からの眺望を考慮する。
- 歴史的地域の周辺は歴史的な地域からの見え方を考慮する。
- 賑わいの中にも秩序あるまちなみを形成する。



岸和田駅・眺望（市役所別館屋上から撮影）



岸和田城と石垣（本町）



岸和田城下町（寺町筋）



歴史的なまちなみ（春木大小路町）

③ 沿道型市街地景観区

基本目標

調和のとれた住・工複合のまちづくり

基本方針

1. 都市軸にふさわしい沿道・河川景観をつくる。
2. 周辺の公園を活かした景観を演出する。



シンボル（主な特徴施設等）

国道 26 号・中央公園・春木川

留意点



- 道路からの眺望に留意した外観とする。
- まちなみとしての美しさを考慮した広告物とする。
- 交差点やアイストップでは、地区のシンボルとなる景観に努める。
- 緑を増やし、沿道景観や河川景観に潤いを与える。



総合体育館（西之内町）



国道 26 号（下池田町付近）



下池田町



箕土路町

④ 新市街地住宅景観区

基本目標

生活文化拠点、良好な住環境の創出



シンボル（主な特徴施設等）

熊野街道・古墳・久米田池・田畑・川・水路・ため池

基本方針

1. 良好な住宅地を形成する。
2. 歴史的遺産やため池との調和を図る。
3. 残された自然環境・風致を活かす。

留意点



- ため池との調和を図る。
- 田園風景との調和を図る。
- 丘陵部の緑を保全する。



久米田池



摩湯山古墳



上松町



上松町

⑤ 里の景観区

基本目標

残された自然と農村集落景観の保全



基本方針

1. 史跡や旧集落、街道などの歴史的景観との調和を図る。
2. 地形・植生の保全、回復に努める。
3. 田園風景との調和を図り、山なみ景観に配慮する。

シンボル（主な特徴施設等）

神於山・丘陵・石垣・ため池・農村集落・果樹園

留意点



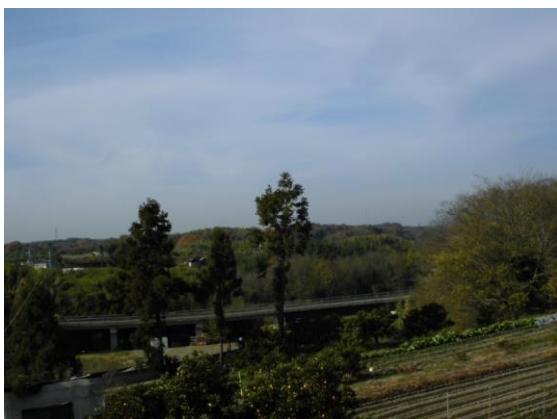
- 神於山への眺望を確保する。
- 山なみと一体となる遠景への配慮。
- 田園風景との調和を図る。
- 丘陵の稜線、緑のスカイラインを乱さないようにする。



福田町



神須屋町



土生滝町



神於山眺望（河合町から撮影）

⑥ 自然緑地景観区

基本目標

自然環境の保全と、自然に親しむ機会の増大



基本方針

1. 現況の地形・植生の保存に努め、自然風景との調和を図る。
2. 特に、標高150m以上の緑と山なみは保全に努める。

シンボル(主な特徴施設等)

葛城山・溪谷・ブナ林・山村・山寺

留意点



- 自然の緑となじむ形態、素材、色彩とする(樹木の緑より彩度を低くする)。
- 法面や外構は周辺の植生に配慮した緑化を行う。
- 山なみと一体となる遠景として配慮をする。



大威徳寺（大沢町）



森やかの郷（大沢町）

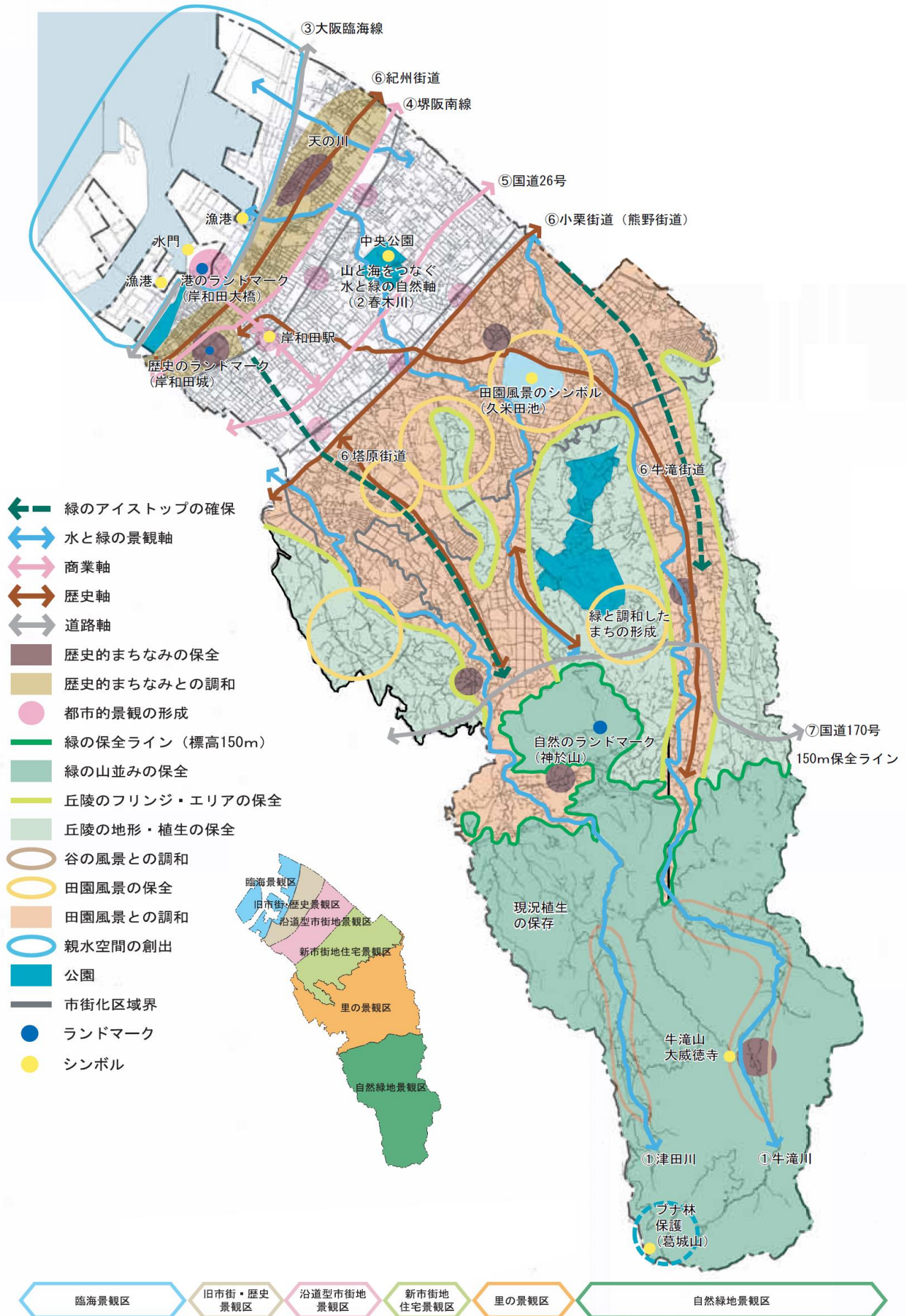


相川町



塔原町

● 景観誘导图



4. 基本景観軸別の基本方針

市域の景観の構造を明快で分かりやすい骨組みとなる線の要素として「基本景観軸」を設定しています(景観誘導図 P.23 参照)。基本景観軸は基本景観区を相互に関連づけながら主要な動線としての役割を担い、また市域全体の構造や位置関係などを把握する手掛りを与えるものです。

基本景観軸は、河川や道路など線の要素のうち、市域の骨格をなすものであり、都市軸として位置づけられるものやそのものの自体が1つの景観場を形成しています。

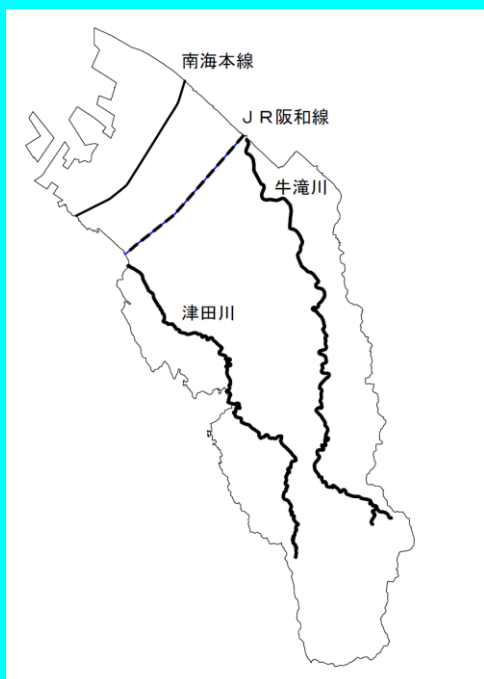
基本景観軸	主な特徴・施設等	基本目標	基本方針
① ○ 津田川 ◎ 牛滝川	○市域の外郭を流れる河川 ◎山地部に渓谷を形作り、市域東部の自然景観を特徴づけている河川	歴史を活かした緑あふれる空間をつくる。	1. 緑による河川空間との調和を図る。 2. 歴史文化遺産を保全し、調和を図る。 3. 山地部に残る自然との調和を図る。
② 春木川	市域の中央部を東西に流れる都市河川	市域中央部に位置する緑の拠点を水と緑の軸で結ぶネットワーク網の基軸とする。	1. 水と緑の軸にふさわしい、連続性が感じられる緑の空間を演出する。
③ 大阪臨海線	水際線に沿って南北に走る幹線道路	岸和田市の臨海部を印象づける南北軸として、魅力ある沿道空間とする。	1. 海への眺望に配慮した沿道空間を演出する。 2. 環境に配慮した沿道景観をつくる。
④ 堺阪南線	市街地の中心部を南北に貫く主要生活道路	中心市街地を南北に貫く商業軸にふさわしい活気あふれる沿道景観をつくる。	1. 緑が感じられるゆとりある空間をつくる。
⑤ 国道 26 号	市域を南北に貫く市街地拡大の軸となってきた道路	岸和田市の南北方向のメインストリートとしてふさわしい沿道景観を目指し、環境に配慮した都会的なイメージを演出する。	1. 近隣の公園や河川に配慮すると共に、緑豊かな良好なまちなみ環境をつくる。 2. 泉州地域の生活と産業を支えるシンボル軸であり、また、関西国際空港への主要なアクセス軸であることを意識し、秩序ある景観づくりを行う。
⑥ 旧街道	1) 紀州街道: 大阪と和歌山を結ぶ江戸時代のメインストリート 2) 熊野街道: 熊野詣によって整えられていった街道 3) 府中街道: 和泉国府と岸和田城を結ぶ街道 4) 牛滝街道: 牛滝山大威徳寺への参詣道で古くから開かれた街道 5) 塔原街道: 葛城山を越えて岸和田と紀州を結ぶ街道	和泉国との関係、城を中心としたまちの発展など岸和田のまちの成り立ちを伝える貴重な歴史軸として空間の保全、再生を図る。	1. 歴史的空間の保全、整備を進め、まちづくりに活かす。 2. 歴史文化遺産等との調和やつながりに配慮する。
⑦ 国道 170 号	神於山の裾野を走り、丘陵部の豊かな緑を背景に市域を横断する幹線道路	丘陵の緑や眺望など優れた環境を保全するとともに、新たに形成される開発地においては、自然環境や山なみに配慮した景観をつくる。	1. 山なみへの眺望と緑の連続性の確保に努める。 2. 新たな開発地においては、緑の保全に努めるとともに、市街地及び山なみへの眺望に配慮する。 3. 山なみ景観との調和に配慮する。

① 牛滝川、津田川景観軸

〈東西をつなぐ水と歴史の文化軸〉

基本目標

歴史を活かした緑あふれる空間をつくる。



基本方針

1. 緑による河川空間との調和を図る。
2. 歴史文化遺産を保全し、調和を図る。
3. 山地部に残る自然との調和を図る。

主な特徴

【牛滝川】市域の外郭を流れる河川

【津田川】山地部に溪谷を形づくり、市域東部の自然景観を特徴づけている。

留意点



- 連続した河川景観に配慮する。
- 自然地形にとけ込んだ景観となるよう配慮する。
- 神聖な空間を尊重する。



牛滝川（山直中町）



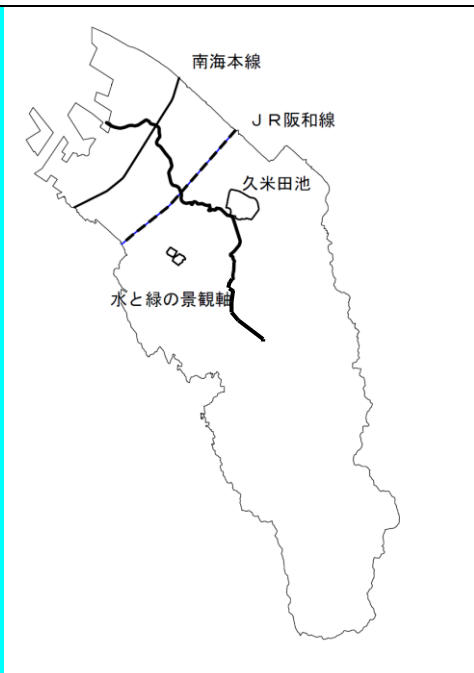
津田川（河合町）

② 春木川景観軸

〈市域の中央部を貫く水と緑のシンボル軸〉

基本目標

市域中央部に位置する緑の拠点を水と緑の軸で結ぶネットワーク網の基軸とする。



基本方針

1. 水と緑の軸にふさわしい、連続性が感じられる緑の空間を演出する。

主な特徴

市域の中央部を東西に流れる都市河川

留意点



- 水と緑に調和したデザインとなるよう配慮する。
- 緑を増やして、河川景観に潤いを与えるよう配慮する。
- 人工的な印象を和らげるデザインとなるよう配慮する。



春木川（額原町）



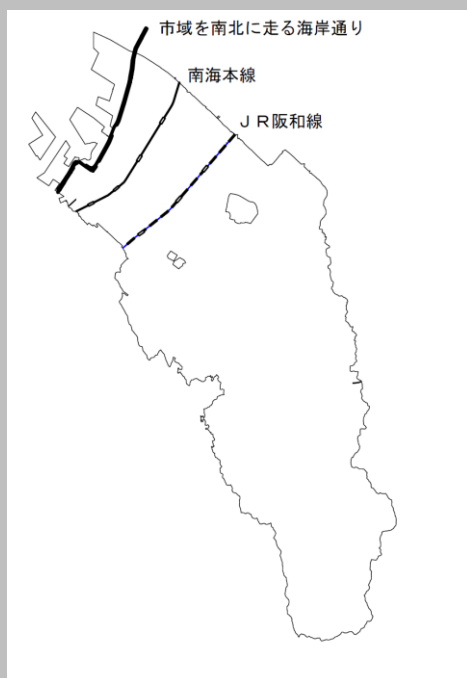
轟川（尾生町）

③ 大阪臨海線景観軸

〈海岸通りとしての道路空間の再生〉

基本目標

岸和田市の臨海部を印象づける南北軸として、魅力ある沿道空間とする。



基本方針

1. 海への眺望に配慮した沿道空間を演出する。
2. 環境に配慮した沿道景観をつくる。

主な特徴

水際に沿って南北に走る幹線道路

留意点



- 景観を阻害しないよう道路、水際からの眺望に配慮する。
- 緑豊かでゆとりある空間とし、潤いを与えるよう配慮する。



新港町付近



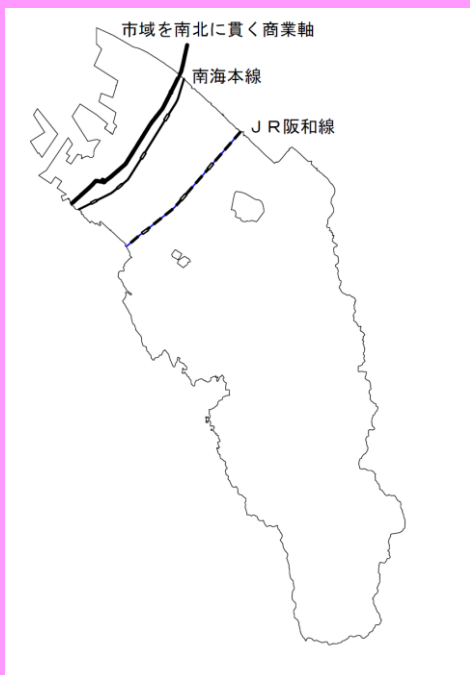
臨海町付近

④ 堺阪南線景観軸

〈南北を結ぶ商業軸〉

基本目標

中心市街地を南北に貫く商業軸にふさわしい活気あふれる沿道景観をつくる。



基本方針

1. 緑が感じられるゆとりある空間をつくる。

主な特徴

市街地の中心部を南北に貫く主要生活道路

留意点



- 四季を彩る草花を建築物やエントランスに飾るなど、低層部のデザインを工夫し、潤いを与えるよう配慮する。
- にぎわいの中にも秩序あるまちなみを形成する。



筋海町付近



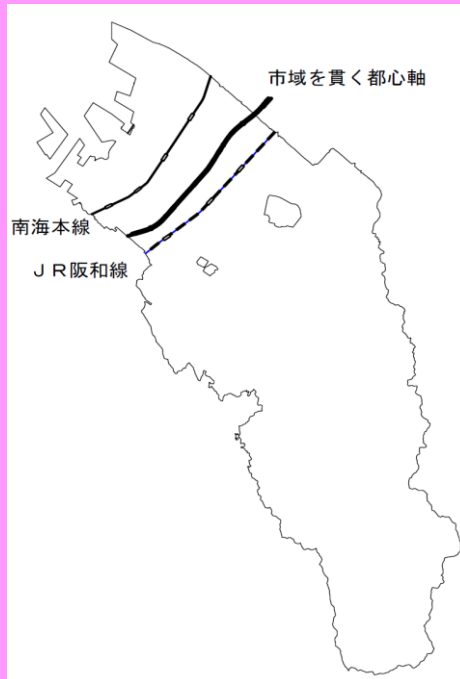
春木若松町付近

⑤ 国道 26 号景観軸

〈南北に貫く都心軸〉

基本目標

岸和田市の南北方向のメインストリートとしてふさわしい沿道景観を目指し、環境に配慮した都会的なイメージを演出する。



基本方針

1. 近隣の公園や河川に配慮するとともに、緑豊かな良好なまちなみ環境をつくる。
2. 泉州地域の生活と産業を支えるシンボル軸であり、また、関西国際空港への主要なアクセス軸であることを意識し、秩序ある景観づくりを行う。

主な特徴

市域を貫く市街地拡大の軸となってきた道路

留意点



- 緑を増やし沿道景観に潤いを与えるよう配慮する。
- 道路からの眺望に留意し、連続性と統一感に配慮する。
- まちなみとしての美しさを考慮した広告物となるよう配慮する。
- 交差点やアイストップとなる場所では、地区のシンボルとなる景観に努める。



土生町付近



西之内町付近

⑥ 旧街道景観軸

〈まちの成り立ちを伝える歴史のネットワーク〉

基本目標

和泉国との関係、城を中心としたまちの発展など岸和田のまちの成り立ちを伝える貴重な歴史軸として空間の保全、再生を図る。



基本方針

1. 歴史的空間の保全、整備を進め、まちづくりに活かす。
2. 歴史文化遺産等との調和やつながりに配慮する。

【紀州街道】

大阪と和歌山を結ぶ江戸時代のメインストリート

【熊野街道】

熊野詣によって整えられていった街道

【府中街道】

和泉国府と岸和田城を結ぶ街道

【牛滝街道】

牛滝山大威徳寺への参詣道で古くから開かれた街道

【塔原街道】

葛城山を越えて岸和田と紀州を結ぶ街道

主な特徴

まちの成り立ちを伝える街道

留意点



- まちなみの雰囲気大切に。
- 派手な電飾や照明を避ける。



並松町



額町

⑦ 国道 170 号景観軸

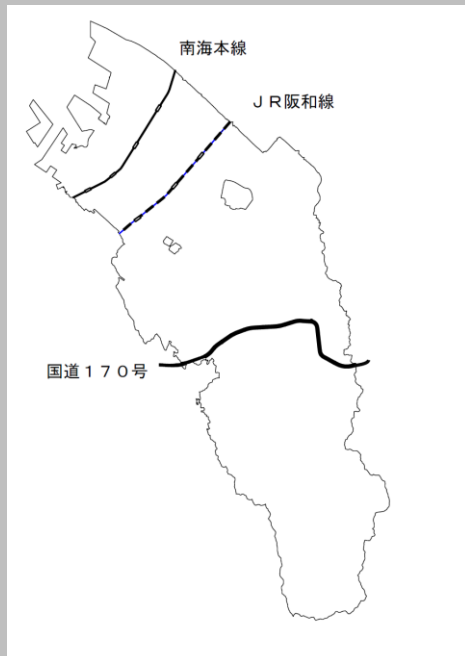
〈南北に貫く緑多い道路軸〉

基本目標

丘陵の緑や眺望など優れた環境を保全するとともに、新たに形成される開発地においては、自然環境や山なみに配慮した景観をつくる。

基本方針

1. 山なみへの眺望と緑の連続性の確保に努める。
2. 新たな開発地においては、緑の保全に努めるとともに、市街地及び山なみへの眺望に配慮する。
3. 山なみ景観との調和に配慮する。



主な特徴

神於山の裾野を走り、丘陵部の豊かな緑を背景に市域を横断する幹線道路

留意点



- 山なみと一体となった緑豊かな沿道景観となるよう配慮する。
- 緑のスカイラインを乱さない。
- 法面や外構は、周辺の植生に配慮し、緑化を施す。



内畑町付近

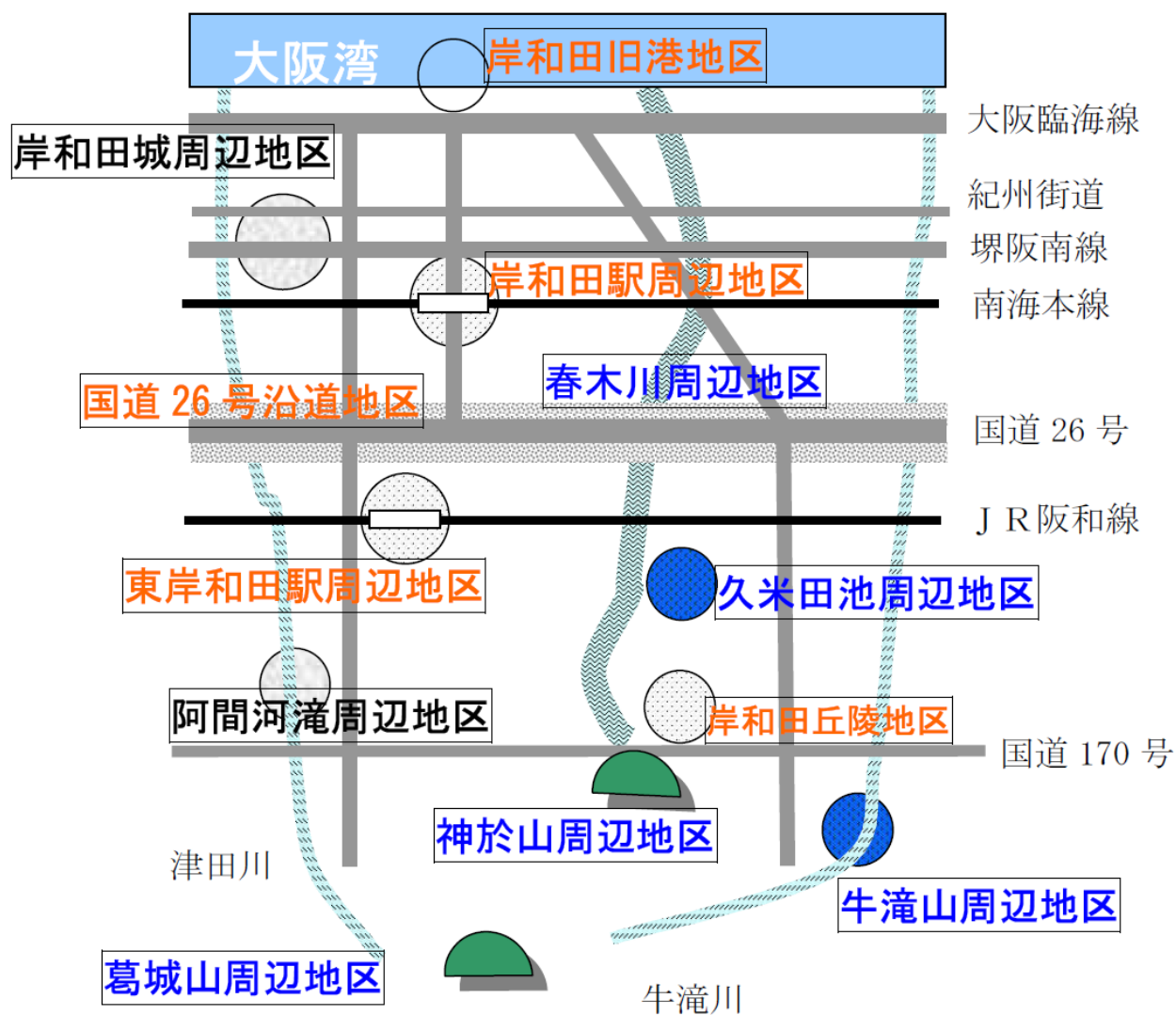


積川町付近

5. 景観配慮地区の景観形成の方針

景観整備を進めていくにあたって核となる空間、基本方針を達成していくための優れた景観を創生していく拠点となる地区、現在の景観を保全していく必要がある地区といった良好な景観モデルとなるような地区を「景観配慮地区」として定めています。

指針分類	地区名
(1) 歴史・伝統保全地区	① 岸和田城周辺地区 ② 阿間河滝周辺地区
(2) 自然調和地区	① 春木川周辺地区 ② 久米田池周辺地区 ③ 神於山周辺地区 ④ 牛滝山周辺地区 ⑤ 葛城山周辺地区
(3) 都市的整備地区	① 岸和田旧港地区 ② 岸和田駅周辺地区 ③ 国道 26 号沿道地区 ④ 東岸和田駅周辺地区 ⑤ 岸和田丘陵地区



(1) 歴史・伝統保全地区

景観形成基本指針 1

歴史と伝統を感じさせる景観の創出

① 岸和田城周辺地区

岸和田城と一体的な歴史・文化環境を形成しうる地区で、かつての岸和田城内である岸城町と、城下町の商業中心であった紀州街道沿道の本町など往時の面影を漂わせている地区である。

目標

歴史的環境を保全、活用し、岸和田らしさを創出する。

景観形成の基本方針

1. 歴史的環境との調和を図る。
2. 歴史的環境を継承する。



岸城町



岸城町

② 阿間河滝周辺地区

坂の傾斜を利用して集落が形成されており、伝統ある家なみが多く残る坂の景観が美しい地区である。周囲の自然環境と調和した趣きある景観を形成している。

目標

丘陵部の農村集落の景観保全の核として、原風景を保全する。

景観形成の基本方針

1. まちなみとしての空間を保全する。
2. 周辺環境をまもる。
3. 伝統的な家なみとの調和を図る。



阿間河滝町



阿間河滝町

(2)自然調和地区

景観形成基本指針2

豊かな自然とのふれあいのある景観を創出

① 春木川周辺地区

春木川は、市域内に起終点をもつ唯一の河川で市の主要な緑の軸として位置づけている。南海本線春木駅からＪＲ阪和線下松駅へのアクセスとして緑道整備を行い、上流部においても親水性に配慮した空間整備が進行中である。

目標

市街地部と神於山を結ぶ市域東西方向の水と緑の中心軸としてふさわしい空間を形成する。

景観形成の基本方針

1. 水と緑の中心軸にふさわしい秩序ある沿川景観をつくる。
2. 河川空間に潤いを与え、良好な沿川環境をつくる。



春木若松町



額原町

② 久米田池周辺地区

久米田池、久米田寺、古墳群など歴史的資源が豊富にあり、自然と歴史が調和した趣のある景観を形成している地区である。久米田池からは、水面越しに見える神於山、葛城山への良好な眺望が得られるところである。

目標

久米田池の活用と周辺環境に調和した良好な住宅形成を図る。

景観形成の基本方針

1. 自然環境との調和のとれた風致地区にふさわしい良好な住宅地の形成を図る。
2. 久米田池からの良好な眺望を確保する。
3. 歴史的環境との調和を図る。



池尻町



池尻町

(2)自然調和地区

景観形成基本指針2

豊かな自然とのふれあいのある景観を創出

③ 神於山周辺地区

岸和田の里山である神於山は、数多くの寺院や神社が存在し、古来より利用することにより育まれ、維持されてきた。私たちの身近に触れあうことができる自然であるとともに、生き物の生息場所として重要であり、またその景観は私たちの心に安らぎを与える存在となっている本市のランドマークである。

目標

ランドマークの神於山とそれに続く尾根の景観を保全するとともに、自然とふれあえる緑の拠点とする。

景観形成の基本方針

1. ランドマークとしての神於山をより強調させるよう景観整備を図る。
2. 里山としての稜線と地形の保全に努める。



内畑町



神於町

④ 牛滝山周辺地区

葛城山に連なる山なみに囲まれ、その谷筋を流れる牛滝川によって特徴づけられる緑と水によって豊かな自然環境が残されている地区である。

牛滝川上流部には牛滝山大威徳寺周辺の紅葉が名所であるとともに、2つの滝があり、周辺の緑と相まって、美しい景観を見せている。

目標

森林公園の拠点空間を目指す。

景観形成の基本方針

1. 現状の地形の改変や植生の消失を極力抑制し、自然景観に配慮する。
2. 周辺環境に配慮する。



森やかの郷（大沢町）



一の滝（大沢町）

(2)自然調和地区

景観形成基本指針2

豊かな自然とのふれあいのある景観を創出

⑤ 葛城山周辺地区

葛城山山頂は紀伊・和泉の国境をなし、俗に葛城の石宝殿と呼ばれる葛城八大龍王社の石祠がある。山頂はやや平坦で、南に紀ノ川を隔てて高野連峰、北に摂河泉の平野から大阪湾を隔てて神戸・六甲の山々、西は紀淡の連山を望む雄大な眺望が楽しめる。頂上付近には、国の天然記念物である自然林がある。

目標

葛城山山頂のブナの自然林を保護し、自然保護の拠点とする。

景観形成の基本方針

1. 現状の地形の改変や植生の消失を極力抑制し、自然景観に配慮する。
2. 建築物等について、周囲の自然と調和したものとする。



葛城山



葛城山

(3) 都市的整備地区

景観形成基本指針 3

都市的魅力にあふれた都市景観を創出

① 岸和田旧港地区

「水と緑につつまれた、21 世紀の新しいライフスタイルの創造」を目指し再開発された地区である。地区内には、商業、業務、居住、国際文化施設等や港湾緑地を整備し、水際に遊・創・住の機能のある新たな都市拠点を形成している。

目標

市民に開かれた海辺空間を創出する。

景観形成の基本方針

1. 海への開かれた眺望を大切にする。
2. ゆとりの空間の創出や緑化により良好な環境の形成を図る。



港緑町



港緑町

② 岸和田駅周辺地区

南海本線岸和田駅を中心とした区域で駅西側は、岸和田駅前通り商店街をはじめとして、いくつもの商店街がつづく本市における市街地部の商業拠点となっている。一方東側は、駅前広場や都市計画道路が整備され、沿道には、商業・業務施設が多く立ち並び、また、大規模なマンションもみられる地区である。

目標

地域の特性を活かした岸和田の顔となる空間を創出する。

景観形成の基本方針

1. 市の玄関口にふさわしい駅前広場周辺や沿道のまちなみとなるよう形成を図る。
2. 良好な住環境と商業・業務施設等との調和を図る。
3. 岸和田駅東停車場線沿道においては、ゆとりと潤いのある空間の創出に努める。



宮本町



野田町

(3) 都市的整備地区

景観形成基本指針 3

都市的魅力にあふれた都市景観を創出

③ 国道26号沿道地区

国道26号沿道は、特別業務地区に指定されており、自動車交通の利便性を活かした流通業務施設等の計画的な配置、誘導が図られている。

目標

岸和田の南北方向のメインストリートとしてふさわしい沿道景観を誘導し、(景観軸として環境に配慮し)都会的なイメージを演出する。

景観形成の基本方針

1. 都市軸にふさわしい秩序ある沿道景観をつくる。
2. 街路空間の潤いに寄与する沿道景観をつくる。
3. 主要な幹線道路の交差点付近などでは、交通の要衝にふさわしい景観をつくる。
4. 中央公園などの緑の拠点一帯は、緑豊かな景観づくりを行う。
5. 東岸和田駅周辺では、魅力ある商業地にふさわしい景観づくりを行う。



小松里町



八阪町

④ 東岸和田駅周辺地区

JR東岸和田駅は、岸和田市内の阪和線の駅で唯一快速電車が停車する駅であり、岸和田市の内陸側の中心地・東側の玄関口として景観の向上が求められる地区である。

東岸和田駅東地区では、防災街区整備事業によって、良好な都市景観の形成に配慮した防災性の高いまちづくりを行った。また、現在、JR阪和線東岸和田駅付近高架化事業を実施している。

目標

魅力的な商業核を形成する。

景観形成の基本方針

1. 高層建築物のシンボル化及び周辺建築物との調和を図る。
2. サイン類は周辺環境に配慮したデザインとする。
3. 商業核としてののにぎわいを演出する。



土生町・東岸和田駅東（高架工事中）



東岸和田駅舎（高架工事中）

(3)都市的整備地区

景観形成基本指針3

都市的魅力にあふれた都市景観を創出

⑤ 岸和田丘陵地区

岸和田市の中央都市軸と国道170号の広域幹線との交差部に位置し、また阪和自動車道の岸和田和泉インターチェンジに近いこともあって、大阪都心や関西国際空港へのアクセス至便な地区である。本地区の地形条件や交通アクセス・営農状況を踏まえながら、「都市整備エリア（住宅地・商業地・業務地）」「農整備エリア（農空間）」「自然活用エリア」と大きく3つのゾーンに分け、まちづくりを進めている。

目標

めぐまれた自然環境との調和を図りながら、魅力的なまちづくりを行う。

景観形成の基本方針

1. 周辺環境との調和を図る。
2. 神於山からの眺望に影響を与えないよう配慮する。



愛彩ランド（岸の丘町）



岸の丘町

■基本景観区と基本景観軸との相関性

「景観配慮地区」の設計に際しては、敷地の属する「基本景観区の基本方針」と「基本景観軸別の基本方針」についても再確認し、該当する基本方針に留意して下さい。

①基本景観区との相関表

	臨海	旧市街・歴史	沿道型市街地	新市街地住宅	里	自然緑地
① 岸和田城周辺地区		◎				
② 阿間河滝周辺地区					◎	
① 春木川周辺地区		○	○	○		
② 久米田池周辺地区				○		
③ 神於山周辺地区					◎	
④ 牛滝山周辺地区						◎
⑤ 葛城山周辺地区						◎
① 岸和田旧港地区	◎					
② 岸和田駅周辺地区		◎				
③ 国道 26 号沿道地区			◎			
④ 東岸和田駅周辺地区			◎			
⑤ 岸和田丘陵地区				◎		

②基本景観軸との相関表

	津田川 牛滝川	春木川	大阪臨海線	堺阪南線	国道 26 号	旧街道	国道 170 号
① 岸和田城周辺地区				○		○	
② 阿間河滝周辺地区	○					○	
① 春木川周辺地区		◎					
② 久米田池周辺地区						○	
③ 神於山周辺地区						○	
④ 牛滝山周辺地区						○	
⑤ 葛城山周辺地区						○	
① 岸和田旧港地区			○				
② 岸和田駅周辺地区							
③ 国道 26 号沿道地区					◎		
④ 東岸和田駅周辺地区					○		
⑤ 岸和田丘陵地区							○

凡 例

◎：基本景観区または基本景観軸を象徴するもの

○：基本景観区または基本景観軸に属するもの